

良覚院丁庭園「緑水庵」改修工事完了記念  
良覚院丁庭園を守る会二十周年記念

仙台なごみ狂言

# 大藏流狂言特別公演会

演目 伯母おぼヶ酒がさけ 他

出演 大藏流狂言宗家

大藏彌右衛門家大藏彌太郎 他

日時 平成三十年四月八日（日曜日）

開演 十四時～十五時三十分（開場十三時）

場所 良覚院丁庭園「緑水庵」

仙台市青葉区片平一丁目二一五

料金 三、〇〇〇円（抹茶・お菓子付）

要予約 先着順三〇名様

主催・お問い合わせ・お申し込み先 《良覚院丁庭園を守る会》

協力 仙台市建設局公園課・クラフト木村（大崎市古川）／後援

TEL 090-19422-12630 千葉

河北新報社・東北放送



大藏 彌太郎 (おおくら・やたろう)

能楽師・狂言方大藏流。

1974年、東京都出身。1979年、狂言「以呂波」にて初舞台。

25世宗家大藏彌右衛門の長男。祖父の24世、及び父に師事。

(公社)能楽協会理事。



吉田 信海 (よしだ・しんかい)

能楽師・狂言方大藏流。1976年、青森県出身。

1998年、狂言「菌」にて初舞台。大藏彌太郎に師事。

おぼがさけ  
伯母ヶ酒

酒屋を営む伯母を甥が訪問する。伯母はまだ一度も酒をふるまってくれたことがないので、今日こそはなんとか飲んでやろうと策を弄するが、けちな伯母はその手にのらない。甥は名案を思いつき、付近におそろしい鬼が出るといううわさがあるから注意するようにといいおき、帰るふりをして途中で鬼の面をかぶり、ふたたび伯母のところへ行く。鬼が現れたと思いきみ動転する伯母を脅して、存分に酒を飲むが、酔いがまわり、その場で寝込んでしまい、正体を見破られて追い込まれる。

出典 株式会社平凡社/世界大百科事典 第2版より

良覚院丁庭園・緑水庵は、平成16年完了の改修工事により茶室の使い勝手がぐいさよくなり広く市民の方々に利用されてきましたが、この度、その後の東日本大震災の影響による不具合箇所等の改修工事が完了しました。

よみがえった緑水庵を祝し、大藏流狂言宗家大藏彌右衛門家大藏彌太郎氏による狂言公演の開催いたします。

宗家大藏彌太郎氏からも「ぜひ仙台市民の皆様のお祝いに演じたい」との言葉をいただいています。

うれしい春の一日、よみがえった明治の建造物「緑水庵」で狂言の世界をお楽しみください。

### 良覚院丁庭園「緑水庵」

仙台市青葉区片平1丁目2-5

仙台市営バス・宮城交通

高等裁判所前下車 徒歩約3分

晩翠草堂前下車 徒歩5分

仙台市地下鉄東西線

大町西公園駅下車 徒歩7分

・駐車場なし

